

中国思想中国哲学専攻分野

| 授業科目 | 講義題目 | 単位 | 担当教員氏名 | 開講 セメスター | 曜日 | 講時 | 頁 |
|--------------------|-------------------|----|----------------|-------------|----|----|---|
| 中国思想中国哲学特論Ⅰ | 中国古代中世思想研究の現状と課題 | 2 | 齋藤 智寛 | 1学期 | 金 | 2 | 1 |
| 中国思想中国哲学特論Ⅱ | 中国近世・近代思想研究の現状と課題 | 2 | 三浦 秀一 | 2学期 | 金 | 2 | 2 |
| 中国思想中国哲学特論Ⅲ | 陸王心学研究 | 2 | 小路口 聡 | 集中(1学期) | | | 3 |
| 中国思想中国哲学研究演習Ⅰ | 錢大昕学術研究 | 2 | 三浦 秀一 | 1学期 | 水 | 2 | 4 |
| 中国思想中国哲学研究演習Ⅱ | 『申鑑』精読 | 2 | 齋藤 智寛 | 2学期 | 水 | 2 | 5 |
| 中国思想中国哲学研究演習Ⅲ | 中国思想研究上の諸問題1 | 2 | 三浦 秀一 齋藤 智寛 | 1学期 | 金 | 5 | 6 |
| 中国思想中国哲学研究演習Ⅳ | 中国思想研究上の諸問題2 | 2 | 三浦 秀一 齋藤 智寛 | 2学期 | 金 | 5 | 7 |
| 課題研究 (中国思想中国哲学) | | 4 | 三浦 秀一 齋藤 智寛 | 通年 | 月 | 1 | |

科目名：中国思想中国哲学特論 I / Chinese Thought (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛（准教授）

講義コード：LM15202， 科目ナンバリング：LHS-PHI613J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国古代中世思想研究の現状と課題

2. Course Title (授業題目)：

Study in the contemporary reserches for Chinese ancient and medieval thought

3. 授業の目的と概要：

日本国内の学術誌に発表された学術論文を題材に、中国古代中世思想研究の現状を把握し検討する。授業は、担当教員による講義と受講生による発表と討論の両形式により進める。発表では、発表担当者は自分の選んだ論文について紹介し、教員と他の受講生も当該論文の内容について討論する。学術論文について研究史や著者の課題といった背景を踏まえた読解をし、その理解の上で立って的確な批判と批評をおこなう能力を養うのが本講義の目的である。

4. 学習の到達目標：

学術論文の論旨を理解し、その意義を評価できる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入。
2. 論文の紹介と批評 1
3. 論文の紹介と批評 2
4. 論文の紹介と批評 3
5. 論文の紹介と批評 4
6. 論文の紹介と批評 5
7. 論文の紹介と批評 6
8. 論文の紹介と批評 7
9. 発表と討論 1
10. 発表と討論 2
11. 発表と討論 3
12. 発表と討論 4
13. 発表と討論 5
14. 発表と討論 6
15. 発表と討論 7

6. 成績評価方法：

発表内容と討論での発言（100%）

7. 教科書および参考書：

講義中に随時紹介する。

8. 授業時間外学習：

講義で取り上げる論文は各自読んでおくこと。

9. その他：

科目名：中国思想中国哲学特論Ⅱ／ Chinese Thought (Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LM25201， 科目ナンバリング：LHS-PHI614J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国近世・近代思想研究の現状と課題

2. Course Title (授業題目)：

Recent Studies on the Thought of the Pre-modern and Modern China in Japan

3. 授業の目的と概要：

中国思想に関する日本語で書かれた研究論文・論著のなかから、いわゆる近世から近代にいたる時期を対象として執筆された最近の作品を読み、その概要をまとめる。受講生は、そうした作業を通じて、当該時代の研究状況を全体的に把握するとともに、個別の論文に対する批判的読解の作法を学ぶ。

4. 学習の到達目標：

学術論文の探索、読解、批判に習熟する。中国近世、近代の思想に関する研究の動向を掌握する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：中国近世思想関連論文選読（1）

第3回：討議（1）

第4回：中国近世思想関連論文選読（2）

第5回：討議（2）

第6回：中国近代思想関連論文選読（1）

第7回：討議（1）

第8回：中国近世思想関連論文選読（3）

第9回：討議（3）

第10回：中国近世思想関連論文選読（4）

第11回：討議（4）

第12回：中国近代思想関連論文選読（2）

第13回：討議（2）

第14回：中国近代思想関連論文選読（3）

第15回：討議（3）

6. 成績評価方法：

授業時間内における報告内容（50%）、討論への参加度（50%）

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、討論の対象となる研究論文をその都度、配付する。

8. 授業時間外学習：

自身が担当する論文について、論証方法や独自性などに注意しながら、その概要をまとめ、報告の準備をおこなう。自身が担当しない論文についても、事前に読んでおく。

9. その他：

特になし。

科目名：中国思想中国哲学特論Ⅲ／ Chinese Thought (Advanced Lecture) III

曜日・講時：前期集中

学期：集中（1学期）、単位数：2

担当教員：小路口 聡（非常勤講師）

講義コード：LM98804、科目ナンバリング：LHS-PHI615J、使用言語：日本語

1. 授業題目：

陸王心学研究

2. Course Title (授業題目)：

Study of the mind learning by Lu Jiu-yuan and Wang Shou-ren

3. 授業の目的と概要：

中国哲学の研究とは、中国思想のテキストを、ひとつのの哲学的資源として、主体的に読み、思索し、言葉にするという営みである。宋明の儒学者、主に南宋の朱熹と陸九淵、そして、明の王守仁と王畿という4人の哲学者のテキストの精読を通して、中国哲学の可能性について、一緒に考えていきたい。

4. 学習の到達目標：

- ・中国哲学の研究に興味を持つことができた。
- ・中国哲学のテキストを主体的に読むことの意義を理解した。
- ・中国哲学の可能性の一端に触れることができた。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) ガイダンス—中国哲学を学ぶことの意義
- 2) 「儒学」とは？—「学び」の主体としての人間の発見
- 3) 木下鉄矢氏の仕事をふりかえる—朱子学とは？
- 4) 哲学的人間観としての性善説の意義
- 5) 朱熹哲学の基軸—木下論文再読
- 6) 朱陸論争とは何だったのか？
- 7) 陸九淵心学再考
- 8) 「心の病」は医し難し—陸九淵の朱子学批判（1）
- 9) 事実の楽しみ、言語の病—陸九淵の朱子学批判（2）
- 10) 「心学」の血脈—陸九淵・王守仁・王畿
- 11) 宋明儒学思想における「現在」主義の哲学
- 12) 王畿の思想—良知現成論とは？
- 13) 良知心学と講学活動
- 14) 『語り合う〈良知〉たち』について
- 15) まとめ

方法：

講義形式で行うが、演習や討議も取り入れる。受講者はあらかじめ配付されて原典資料を各自で読んでおくこと。また、授業で取り上げる哲学者達の問題提起について、討議を行うので、主体的に参加すること。

6. 成績評価方法：

評価項目としては、事前に課す課題(20%)、及び、事後に課すレポート（60%）、及び、授業における発言（口頭、リアクション・ペーパー等/20%）をもとに、総合的に評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書は、特に使用しない。プリントを配布する。

参考書：

- 小路口聡『即今自立の哲学—陸九淵心学再考—』研文出版
『哲学的資源としての中国思想—吉田公平教授退休記念論集』研文出版
小路口聡編著『語り合う〈良知〉たち—王龍溪の良知心学と講学活動—』研文出版
木下鉄矢『朱子学』講談社現代新書メチエ
木下鉄矢『朱熹再考』研文出版
木下鉄矢『朱熹哲学の視軸』研文出版
吉田公平『中国近世の心学思想』研文出版

8. 授業時間外学習：

講義の中で検討する原典資料（漢文）を事前に配付するので、各自、読んでくること。
参考文献に目を通しておくこと。

9. その他：

科目名：中国思想中国哲学研究演習 I / Chinese Thought (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LM13202， 科目ナンバリング：LHS-PHI617J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

銭大昕学術研究

2. Course Title (授業題目)：

Stydy of Qian Da-xin's "Lunyu Dawen(Questions and answers on the Analects)"

3. 授業の目的と概要：

清代中期の学者である銭大昕が残した『論語』をめぐる諸問題への問答を読み、その内容や問題解決の方法とを把握することによって、かかる知見の同時代的ないし思想史的意義を考察する。授業は、担当者が各自、テキストの訳注を作成し、それにもとづいて受講者全員が討議を重ねながら、より妥当な訳注の完成をめざす。

4. 学習の到達目標：

銭大昕による解釈の内容と方法とに習熟する。

中国古典文の訳注作業を覚える。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンスとテキストの紹介

第2回：第1条読解

第3回：同討論

第4回：第2条読解

第5回：同討論

第6回：第3条読解

第7回：同討論

第8回：第4条読解

第9回：同討論

第10回：第5条読解

第11回：同討論

第12回：第7条読解

第13回：同討論

第14回：第8条読解

第15回：同討論

6. 成績評価方法：

発表 (60%)、受講態度 (40%)

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

8. 授業時間外学習：

担当者は、発表の準備を入念におこなう。担当者以外の受講者も、担当者と同等もしくはそれ以上に、読解のための予習をおこなう。また、発表時に配布されたレジュメ等に関しては、それを改めて読み直し、次回以降の授業に活用する。

9. その他：

特になし。

科目名：中国思想中国哲学研究演習Ⅱ／ Chinese Thought (Advanced Seminar) II

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛（准教授）

講義コード：LM23202， 科目ナンバリング：LHS-PHI618J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

『申鑑』精読

2. Course Title (授業題目)：

Reading and Research in the Shen jian

3. 授業の目的と概要：

後漢・荀悦の『申鑑』を読む。主張の論拠や批判対象を調査した上で文献の論旨を理解し、訳注を作成する能力を涵養するのが目的である。

4. 学習の到達目標：

思想文献の論旨を理解し、精確な訳注を作成することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入

2. 『申鑑』会読

3. 『申鑑』会読

4. 『申鑑』会読

5. 『申鑑』会読

6. 『申鑑』会読

7. 『申鑑』会読

8. 『申鑑』会読

9. 『申鑑』会読

10. 『申鑑』会読

11. 『申鑑』会読

12. 『申鑑』会読

13. 『申鑑』会読

14. 『申鑑』会読

15. 『申鑑』会読

6. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況（100%）

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。

8. 授業時間外学習：

予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

9. その他：

科目名：中国思想中国哲学研究演習Ⅲ／ Chinese Thought (Advanced Seminar) III

曜日・講時：前期 金曜日 5講時

学期：1学期， 単位数：2

担当教員：三浦 秀一・齋藤 智寛（教授、准教授）

講義コード：LM15501， 科目ナンバリング：LHS-PHI619J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国思想研究上の諸問題 1

2. Course Title (授業題目)：

Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 1

3. 授業の目的と概要：

前期での発表や討議にもとづいて、受講者各自が、それぞれの研究テーマにもとづく論文の草稿を作成して発表するとともに、受講者全員が、その発表にもとづいて自由に討論する。

4. 学習の到達目標：

みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させることができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：発表と討議（1）

第3回：発表と討議（2）

第4回：発表と討議（3）

第5回：発表と討議（4）

第6回：発表と討議（5）

第7回：発表と討議（6）

第8回：中間まとめ

第9回：発表と討議（7）

第10回：発表と討議（8）

第11回：発表と討議（9）

第12回：発表と討議（10）

第13回：発表と討議（11）

第14回：発表と討議（12）

第15回：まとめ

6. 成績評価方法：

発表内容（50%）、参加態度（50%）

7. 教科書および参考書：

教科書はとくにない。受講者各自が事前に配布した発表資料を使用して、授業をすすめる。

8. 授業時間外学習：

発表者は、入念な準備作業のもと、発表予定の内容について十分に構想を練ったうえで、配付資料を丁寧に作成し、遅くとも発表の1週間前にはそれを配付する。ほかの参加者は、事前に配付された資料を良く読み、予習を周到におこなう。

9. その他：

特になし。

科目名：中国思想中国哲学研究演習IV／ Chinese Thought (Advanced Seminar) IV

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：三浦 秀一・齋藤 智寛（教授、准教授）

講義コード：LM25501， 科目ナンバリング：LHS-PHI620J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国思想研究上の諸問題 2

2. Course Title (授業題目)：

Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 2

3. 授業の目的と概要：

前期での発表や討議にもとづいて、受講者各自が、それぞれの研究テーマにもとづく論文の草稿を作成して発表するとともに、受講者全員が、その発表にもとづいて自由に討論する。

4. 学習の到達目標：

みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させることができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：発表と討議（1）

第3回：発表と討議（2）

第4回：発表と討議（3）

第5回：発表と討議（4）

第6回：発表と討議（5）

第7回：発表と討議（6）

第8回：中間まとめ

第9回：発表と討議（7）

第10回：発表と討議（8）

第11回：発表と討議（9）

第12回：発表と討議（10）

第13回：発表と討議（11）

第14回：発表と討議（12）

第15回：まとめ

6. 成績評価方法：

発表内容（50%）、参加態度（50%）

7. 教科書および参考書：

教科書はとくにない。受講者各自が事前に配布した発表資料を使用して、授業をすすめる。

8. 授業時間外学習：

発表者は、入念な準備作業のもと、発表予定の内容について十分に構想を練ったうえで、配付資料を丁寧に作成し、遅くとも発表の1週間前にはそれを配付する。ほかの参加者は、事前に配付された資料を良く読み、予習を周到におこなう。

9. その他：

特になし。